

クラス番号	606	担当教員名	木全 和巳
テーマ	〈しょうがい〉のある子ども・おとなたちと学び育ちあうソーシャルワーク実践の創造 ー 安心して豊かに暮らせる地域と社会をともにつくるために ー		
著書・論文	【単著】『児童福祉施設で生活する〈しょうがい〉のある子どもたち〈性〉教育支援実践の課題』(2010)／『安心して豊かに暮らせる地域をつくる』(2008)／『わたくしたちはソーシャルワーカーです』(2007)【共著】『障害は迷惑ではない』(2016)など		
研究課題等	【研究課題】 1. 障害者総合支援法などの〈しょうがい〉児者社会福祉施策に関する研究 2. 〈しょうがい〉のある人たちとの相互学習と地域生活支援実践に関する研究 3. 〈しょうがい〉のある人へのセクシュアリティの援助実践に関する研究		

ゼミナール概要

キーワード：〈しょうがい〉／社会福祉実践／地域生活支援／発達保障／人権保障／セクシュアリティ支援／

目的：〈しょうがい〉とは何かを考えながら、〈しょうがい〉と〈しょうがい〉のある子ども、人、家族、地域の人々と、生活の困難をともに解決をしていく「専門職」の役割を学び、考え、こうした専門職になるため知識や技術といったちからをともにつけていきましょう。

授業計画（内容、方法等）：

3年次は、ゼミ生一人ひとりの深めたてみたい「こだわり」を確認していくこと、当事者・家族・支援者の人たちをゼミに呼んだり、実際に現場に出かけて話を聴いたりしながら、学生のみなさんが興味関心をもっているテーマを深めていくことをみんなでしていきます。夏休みは、「聴き取り」の課題があります。夏休み以降の実習に向けても、ゼミの研究課題と結びつけてのアドバイスもできればと思います。

秋以降は、実習のふりかえりと共に、さらに自分のテーマを明確にしなが、改めて当事者・家族・支援者の人たちに話を聞きに行くことや、実際にフィールドに出ながらの資料収集などもしていく支援をしていきます。また、ここからだや〈しょうがい〉の学習を本人たちと行うワークショップもします。春休みには、1泊2日で、ゼミで施設見学に行きます。同時期に、卒業論文の第1回の中間報告会をする予定です。

4年次は、個々の興味関心を大切にしながら、卒業論文作成に向けて、支援をします。児童養護施設で暮らす〈しょうがい〉のある子どもなど、対象も子ども、おとな、家族、支援者など、〈しょうがい〉の種別もどんな〈しょうがい〉でも大丈夫です。理論研究、実践研究、歴史研究など、自分がやってみよう方法で挑戦してみてください。できれば、現場に出向いて本人家族支援者に聴き取りをいっていくような実践的な調査研究をお勧めします。

9月には、卒業論文の第2回の中間報告会をこれも2日間ぐらいかけて行う予定です。秋以降は、卒業論文を書き上げるための支援をします。

*金曜日の6限に子ども発達の伊藤修毅先生と自主的な学習の場として、全国障害者問題研究会学生サークルをしています。

地域で開催される児童養護施設の研究会や障害者問題の研究会、紹介するので、どんどん自主的に参加してください。

サークルなどのフィールドを大切にしてください。

担当教員からのメッセージ



1. 卒論を書くこと、2. 希望する進路を実現させること、3. 卒業後も相談できる友だちをみつけること

広く〈しょうがい〉に関することに興味関心がある方が対象です。通園施設や児童デイサービスなど保育士の資格をとりながら、特別支援の教育に関心のある方、そして、通所や入所の施設に関心のある方、地域生活支援に関心のある方、映画の中、小説や絵本の中の〈しょうがい〉のある人たちに関心のある方、自分のこだわりを大切にしてください。仲間とともに自主的に学び合いたい方、実践者としてちからがつけたいとねがいをもっている方が対象です。当事者の人権をほんとうの意味で大切にしたい人を求めます。

現場で当事者・家族・支援者が困っていることをいっしょに解決したい。人間らしいねがいをともに実現させていきたい。貧困と格差の問題が解決を求められている現代社会の大きな課題となっています。こうした課題を〈しょうがい〉のある人たちの生活と重ね合わせながら、自分たちの問題として、ともに学び、考えていきたいと思っています。

この間、対象は、乳幼児から学童期、青年、成人期まで、場所も、通所の施設から居宅事業、相談支援事業、市町村の福祉計画づくりまで、関わってきました。みなさんの興味関心に応えながら、こうしたフィールドに実際に参加しながら、現場でいま困っているたくさんの課題を受けとめて、ソーシャルワークの視点から、どうしてこうなったのか、どうしたら解決できるのかをねばりよくいっしょに考えていきたいと思っています。

〈しょうがい〉に関することであれば、歴史研究、事例研究、教育研究など対応できると思います。自分のこだわりとやりたいことをほんとうに大切にしてください。